

「神秘的な朝」 撮影：寺澤善輝氏

■ 応募者からのコメント

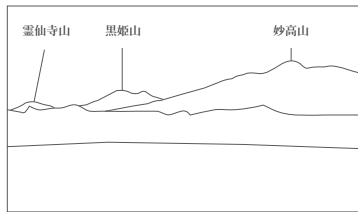
妙高・黒姫・飯綱は古来から信仰の山で、朝霧にあさひが降り注ぎ、神々しく神秘的でした。お勧めは、紅葉と初雪が重なる時期で、早朝から九時位までの「三段錦」(冠雪・錦秋・麓の常緑樹)が最高です。

□ 講評

朝霧が立ちこめる中、遠景に五山が見える風景は、早朝の散歩やランニングのモチベーションを高めてくれるだろう。

撮影場所：【地点 ③】
Map B-1

妙高市
(松山水辺ふれあい公園)
駐車場：
松山水辺ふれあい公園の
駐車場



「初夏の笹ヶ峰高原乙見湖」 撮影：山川茂夫氏

■ 応募者からのコメント

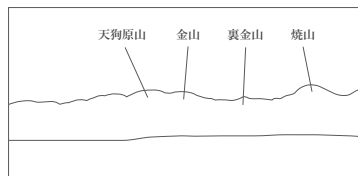
笹ヶ峰高原にある笹ヶ峰ダム、別名乙見湖は初夏の時期になると雪解け水で満水になり、湖面には残雪の残る周辺の山々を見事に映し出します。笹ヶ峰ダムは農業用水の為のダムなので、8月終わる頃には水がかなり減ってしまい、このような景色は見られなくなります。初夏までの期間限定の風景です。湖面が鏡のようになるのは風のない朝の時間帯です。

□ 講評

新緑から緑がようやく濃くなっていく季節でも稜線はまだまだ白く覆われている。乙見湖に映るそのコントラストが鮮やか。

撮影場所：【地点 ⑤】
Map A-2

妙高市(笹ヶ峰高原乙見湖)
駐車場：
乙見湖休憩舎の駐車場



「豪雪の晴れ間」 撮影：寺澤善輝氏

■ 応募者からのコメント

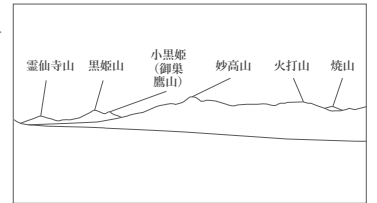
先住民のアイヌ民族、いやナウマンゾウの時代から続く妙高連山の雪景色です。豪雪が一息ついた後の、抜けるような青空と雪景色の空の色を映したような青い雪が大好きです。この撮影ポイントは、春夏秋冬、いつでもなん時でもおすすめです。

□ 講評

妙高周辺は豪雪地帯であり厳しい冬を過ごすことになるが、その中で晴れ間が出る瞬間はきわめて貴重な時間だろう。雪を融かしながらかれる川面には、春の気配もわずかに含まれているようだ。

撮影場所：【地点 ④】
Map B-1

妙高市(はねうま大橋)
駐車場：
はねうま大橋左岸側に
駐車スペースあり



「早苗の水面に映る黒姫山」 撮影：春日良樹氏

■ 応募者からのコメント

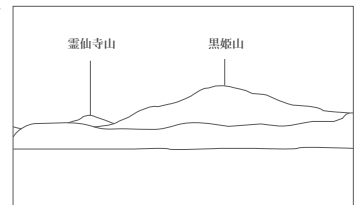
人々の生活をずっと見続けてきた山だから

□ 講評

田んぼ一面に張られた水は、山からの恵み。早苗が風にそよぐ水面もまた五山を映す絶景を作り出す。

撮影場所：【地点 ⑥】
Map B-2

妙高市(杉野沢付近)
駐車場：特になし
(駐車場のあもり池から
中部北陸自然歩道を利用し
ての散策がおすすめです)





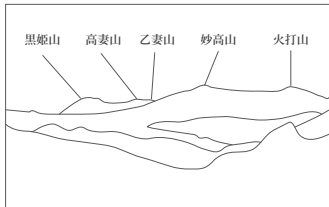
「中でも妙高山が好き」 撮影：竹内靖彦氏

■ 応募者からのコメント

昭和 56 年にこの景色を最初に見て感動してから、ず〜と何度見ても感動、そして撮影した日も感動しました。おすすめ時期は、一年中と言いたいけれども、降雪してからは車両通行止め及び雪崩が発生するので無理です。おすすめ時間は、日の出から日の入りまでの時間も感動です。

□ 講評

妙高に連なる連山とふもとの平野を一望できる貴重な視点を紹介した作品。四季や時刻によって次々と表情が変わる姿が思い浮かべられる。



撮影場所：【地点 7】
Map B-1

妙高市（坪山付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



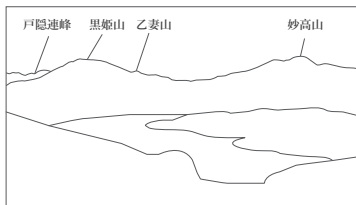
「晩秋の北信濃」 撮影：井上信男氏

■ 応募者からのコメント

黒姫山、妙高山、野尻湖を俯瞰撮影できます。おすすめは新緑か紅葉の季節です。

□ 講評

野尻湖に映り込む真っ青な空と紅葉、冠雪が見事にバランスした展望。湖畔の暮らしがうらやましくなる風景。



撮影場所：【地点 9】
Map B-2

信濃町（管川付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「一目三山」 撮影：有江重毅氏

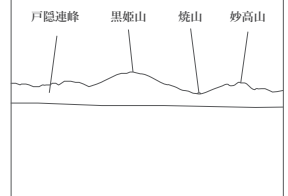
■ 応募者からのコメント
信濃町から冬の黒姫山

□ 講評

あたり一面の銀世界に黒姫を中心とした山々が映える。雪原を歩む足跡はどこへ向かうのか、冬でも人や生き物の暮らしがあることを感じさせる一枚となっている。

撮影場所：【地点 8】
Map B-2

信濃町（穂波付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「きらめく湖面を眺めて」 撮影：山下茉莉子氏

■ 応募者からのコメント

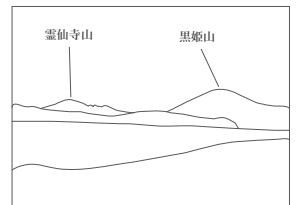
弁天島にフェリーで行き、座ってのんびりとお弁当を食べる場所をさがして見つけた湖畔です。水辺でばしゃばしゃ遊ぶこともでき、素敵な時間でした。

□ 講評

島は日常を離れてリフレッシュできる場所。喧騒を忘れてのんびりできる場所として、最高のロケーションかもしれない。

撮影場所：【地点 10】
Map B-2

信濃町（野尻湖弁天島）
駐車場：野尻湖遊覧船乗り場の駐車場（弁天島までは遊覧船乗車）





「霊仙寺湖でのワカサギの穴釣り」

撮影：山科義彦氏

■ 応募者からのコメント

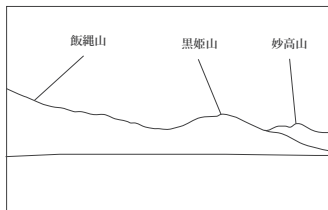
自然の美しい風景に人々の楽しむ姿がうまく溶け合っている。(自然と人工物)

□ 講評

厚い氷の下に糸を垂らすワカサギ釣り、色とりどりのテントがモノクロームな冬の景色ににぎわいをもたらしている。下ばかり見ずに、時には黒姫や妙高を見上げて背伸びしたい。

撮影場所：【地点 11】
Map B-2

飯網町（霊仙寺湖）
駐車場：
霊仙寺湖の駐車場



「真っ赤なりんごと紅葉と薄化粧した山々」

撮影：天野奈津美氏

■ 応募者からのコメント

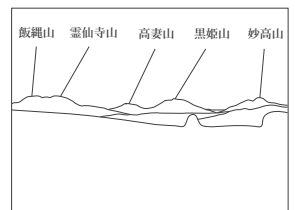
初雪で薄化粧した山々と紅葉と赤いりんごのコントラストがとてもきれいです。秋に雪が降った午前中がオススメです。

□ 講評

飯網町はリンゴの有名産地。リンゴ園は五山とともに生きる麓の風景を視覚と味覚で彩ってくれる。

撮影場所：【地点 12】
Map B-2

飯網町（倉井付近）
駐車場：特になし
(周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください)



「桃のアーチ」 撮影：佐原亮太氏

■ 応募者からのコメント

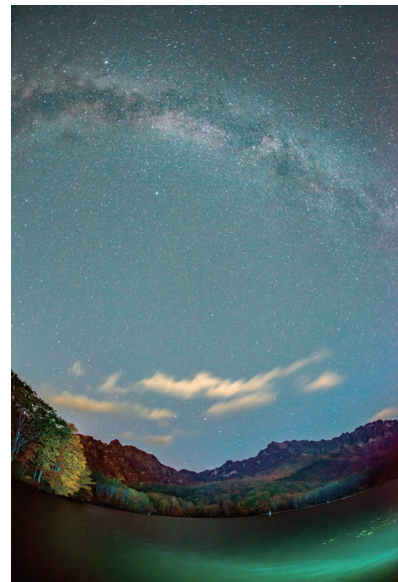
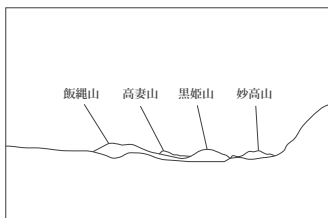
のどかで見惚れる景観でした。桃の花が咲く 4 月下旬、5 月上旬がおすすめです。

□ 講評

大型連休の頃、桃の花が咲き誇る丹霞郷は多くの人でにぎわう。桃の枝のアーチをフレームに五山を覗きながら、そろそろ冷たいものでも頬張りたくなる季節だろうか。

撮影場所：【地点 13】
Map B-2

飯網町（丹霞郷）
駐車場：
丹霞郷の駐車場



「天の川、地の鏡池」 撮影：増田恵氏

■ 応募者からのコメント

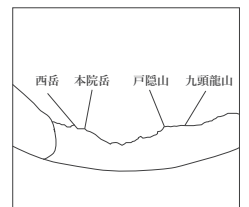
天の川が良く見える良い場所です。

□ 講評

鏡池は頻繁に使われているモチーフだが、夜景のひろがりど大地のいろどりが見事に表現された特別な一枚となっている。

撮影場所：【地点 14】 Map A-2

長野市（鏡池）
駐車場：鏡池の駐車場





「そば畑と戸隠連峰」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

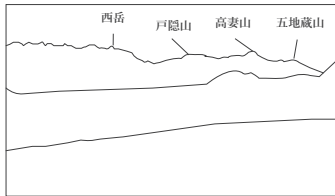
戸隠はそば畑が広範囲で栽培されていますが、ここもやや高台でそば畑そして民家が建ち並ぶその先に戸隠連峰がそびえています。春の山が緑になる頃の谷間の残雪、秋の紅葉等が美しい景観を見せてくれます。ソバ、ミズバショウ、カタクリなどの花や、紅葉、鏡池、戸隠高原の風景と生み出されるそばや竹細工などの産物があります。

□ 講評

そばは戸隠の大事な楽しみ。そば畑の風景も大事な地域性を醸し出す。山間の生活がよく描き出されている風景。

撮影場所：【地点 15】
Map A-2

長野市（戸隠豊岡付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「少し登ると、あらびっくり！！」

撮影：山下茉莉子氏

■ 応募者からのコメント

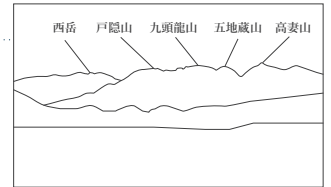
めのう山に登ろうと思い、スキー場の斜面に登りはじめました。少し登って後ろをふり向くと、戸隠連峰の圧感の景色が！！少し登るだけでも、こんなに素敵な景色に出会えるのですね。

□ 講評

スキー場の楽しさも冬だけではない。気軽に歩ける広い原っぱはいまや貴重になっている。夏のスキー場を新鮮な目で見てとらえた一枚。

撮影場所：【地点 16】
Map A-2

長野市（戸隠スキー場）
駐車場：
戸隠スキー場の駐車場



「須坂市からの一望連山」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

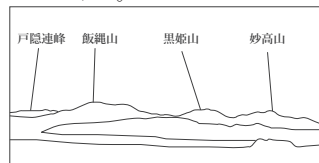
千曲川の右岸側から一望できる公園の山々は上流の長野市方面で見る山と下流の木島平方面から見る山とでは戸隠連峰が前の飯綱山の左に又は右に見え、山頂の雪化粧や春の緑、花咲く頃の残雪時等ここ須坂市野辺の風景と共に変化に富む美しい景観を見せてくれる。

□ 講評

千曲川右岸まで離れるとそれぞれの山の個性的な形がシルエットのように浮かび上がる。この一帯の町や村ではどこも五山が日常の一部になり、地域らしさのアイデンティティになっているだろう。コメ、リンゴ、ブドウなど様々な農産物の収穫時期には、山が遠くまでよく見える日ほど仕事にも精がでるのではないだろうか。

撮影場所：【地点 17】
Map B-2

須坂市（北信濃くだもの街道沿い）
駐車場：須坂市創造の家の駐車場



「中野市からの一望連山」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

千曲川の右岸側から一望できる公園の山々は上流の長野市方面で見る山と下流の木島平方面から見る山とでは戸隠連峰が前の飯綱山の左に又は右に見え、山頂の雪化粧や春の緑、花咲く頃の残雪時等ここ中野市桜沢の風景と共に変化に富む美しい景観を見せてくれる。

□ 講評

千曲川右岸まで離れるとそれぞれの山の個性的な形がシルエットのように浮かび上がる。この一帯の町や村ではどこも五山が日常の一部になり、地域らしさのアイデンティティになっているだろう。コメ、リンゴ、ブドウなど様々な農産物の収穫時期には、山が遠くまでよく見える日ほど仕事にも精がでるのではないだろうか。

撮影場所：【地点 18】
Map B-2

中野市（桜沢付近）
駐車場：
特になし（集落内への駐車はご注意ください）

